

## 伊東市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和7年10月29日（水曜日）  
午後3時30分～午後5時00分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟8階大会議室
- 3 出席者 委員 遠山 泰範（教育長職務代理人）  
委員 辻 恵                      委員 北岡 ゆうこ  
委員 秋山 佳輝
- 4 参 与 教育部長 西川 豪紀      次長兼教育総務課長 杉山 宏生  
教育指導課長 森田 まり      幼児教育課長 鈴木 慎一  
生涯学習課長 山下 匡弘
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 石川 貴士      教育総務課課長補佐 掬川 宗範  
主幹 藤原 真紀
- 6 会議の経過

**遠山教育長職務代理人：**ただ今から伊東市教育委員会10月定例会を開会する。議事に先立ち事務局からの報告を行う。

（事務局から資料確認）

**事務局：**傍聴希望者が1人いるので、傍聴を許可するか教育長職務代理人に伺う。

**遠山教育長職務代理人：**1人の方からの傍聴の申し出について、傍聴を許可したいと思うが、いかがか。

（異議なし）

**遠山教育長職務代理人：**承認が得られたので、傍聴を許可し、傍聴人に入室していただく。

（傍聴人入室）

**遠山教育長職務代理人：**議事に入る前に、会議の非公開について諮りたい。本日の日程のうち、各課報告において、教育指導課から生徒指導の報告がある場合には、伊東市教育委員会会議規則第9条により秘密会としたいと思う。賛成の委員は挙手を願う。

(挙手全員)

**遠山教育長職務代理者**：承認が得られたので、教育指導課から生徒指導の報告がある場合には秘密会とする。

**遠山教育長職務代理者**：議事に入る。各委員からの報告をお願いする。

**B委員**：宇佐美中学校の文化祭と、門野中学校の体育祭へ行ってきた。宇佐美中学校の合唱コンクールだが、教務の先生にお伺いしたら、音楽教諭のほかに、合唱団の指導者の方が指導してくださっているとのことで、とても素晴らしくて感動した。門野中学校の体育祭は生徒数がどんどん減っていると感じる。その中で、生徒会が企画をした競技があったり、先生たちが生徒と一緒に盛上げたり、学校の授業とは別に、先生と生徒と一緒にできるのいいなと思った。その中でも、まだマスクをして競技に参加している生徒も何名かいた。マスクは自由だが、暑かったので心配にはなった。無事に閉会式まで全て終わって、私も楽しませていただいた。

**C委員**：対島中学校の体育祭、門野中学校の文化祭に行ってきた。体育祭で来賓席に座っていた時に、ご父兄の方は、自分で椅子を持ってきたり、炎天下の中で一生懸命カメラを撮ったりしていたが、お年寄りの座る場所がないからと言って、来賓のどなたかと知り合いだったみたいで、「空いているから座っていい。」と言って座っていた方がいた。門野中学校の文化祭は、1年生は少し恥じらいながら小さい声で歌っていて、2年生になると少し自信がついて、3年生は最後だから力一杯というのが感じられて良かった。何度、聞いても文化祭の歌声はいいなと思った。

**D委員**：北中学校の体育祭、文化祭へ行かせてもらった。生徒会の皆さんのリーダーシップが素晴らしかった。体育祭の時は、選手宣誓だったり、文化祭は、スタートを盛り上げるような企画をされていたり、見ているすべての人がとても楽しめた良い文化祭だったと思う。

**A委員**：南中学校の体育祭と、宇佐美中学校の体育祭に行ってきた。明日、南中学校の文化祭に行く予定である。体育祭は、それぞれ規模が違う学校であったが、どちらも生徒がすごく一生懸命取り組んでいる様子が伝わってきて、見

ていてとても楽しかった。特に、宇佐美中学校は文化祭で、白か赤どちらか片方だけがずっと勝っていた。それがあったから、うまくいかなかったチームの団結力がすごくて、ここで全部勝ってやろうみたいな、そういうストーリーもあったようで、私も一緒になって楽しみながら観戦できた。朝、雨が降ったので宇佐美中学校は準備が大変だったが、どちらの学校も先生も生徒も一丸となって、取り組んでいる様子、先生たちも白熱して応援している様子も含めて、とてもいい雰囲気だなと思って拝見した。

**遠山教育長職務代理者**：次に議題に入る。始めに議決事項、教議第4号「令和8年度重点化事業及び新規事業について」を議題とする。

（**杉山次長兼教育総務課長、森田教育指導課長、鈴木幼児教育課長、山下生涯学習課長**から資料に沿って説明）

**遠山教育長職務代理者**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**D委員**：幼児教育課の重点化拡大事業、宇佐美保育園機能移転について、移設までにかかる耐震、地震発生時のフォロー、バギーや段差の解消に関する件については、非常に評価できると思う。ただ予算がついて、設備が具備できるまでの間、運営上の対応など、さらにきめ細かく踏み込んだ対応をしていただけたらと思う。最終的に政治の判断が出てくる場面があると思う。その場合には変更の余地もあり得ると理解をしている。そこら辺については、状況共有させていただきたいと思うので、さらに丁寧な対応をお願いできればと思う。

**A委員**：いろいろな可能性を考えつつ、今の園舎にいる方々のケアも引き続きよろしく願います。

**B委員**：幼児教育課の市立保育園で実施する子ども・子育て支援事業等について、医療的ケア児について、令和8年度ケア児の受入れ環境の充実と体制の強化を図っていくということだが、現在、ケアが必要な児童がどのぐらいいて、これからケアが必要な方が入園される予定はあるか。

**鈴木幼児教育課長**：今年度、看護師でなければできない導尿が必要な医療的ケア児を、市内で唯一、玖須美保育園でお預かりをしている。最小限の導尿設備があればいいが、今回の受け入れに当たっては、様々なベッドや、看護師から

少し隔離ができるスペースなど、細かいことを言えば、導尿の子どもがプールに入る時、他の子どもと同じプールに入ることが難しかったりするので、別に隣接した専用のプールみたいな形でやっていくなど、細々したものを購入した。また、新たに今回の保育園の入所申込みでも、医療的ケアまではいかないが、個別のケアが必要な子どもがいて、公立での受入れが今後も使命と考えると、今回の玖須美保育園に限らず、いろいろな設備を充実させて、いつでも受入れができる体制を作っていくことが、8年度の足がかりをしていこうということになる。

**B委員**：そういう設備や環境が整っていると、保護者も安心だと思う。預けられるところがあればいいなと思って、ぜひ実施していただきたいと思う。

**鈴木幼児教育課長**：今後この少子化の中でいうと、民間園が定員の中で入所していく。そうすると、公立の役目はいろいろな面もある。なかなか家庭が複雑な子どもなどもいるが、こういった医療的ケア児を1対1の関係で言うと、民間だとなかなか給付費の関係で、環境が難しい部分はある。そこが今後、公立として必要な役目だと、徐々に現場にはそういう意識が浸透し始めたということである。

**A委員**：宇佐美保育園機能移転についての意見に対して、幼児教育課長から何かあれば願います。

**鈴木幼児教育課長**：可能な限り今できることを早急にやっていく。また、政治的なところで、何か進捗があれば、教育委員会の中でご報告をさせていただきたいと思っている。

**遠山教育長職務代理者**：その他、何か意見・質問はあるか。

**D委員**：教育指導課の新規事業、部活動の地域展開についてだが、地域部活は県内だと掛川が先んじて進んでいると認識をしているが、現状この事業は進むと仮定した場合に、どのような形が具現化するのか。

**森田教育指導課長**：掛川市は県内でもトップを切って、部署を立ち上げて、一斉に指導をして展開したというところで、県内の事例でよく引き合いに出されているが、伊東市とはまた事情が違うところもある。伊東市は、当初、令和9

年度の中体連が終了したところから、1校1校の部活動設置ではなく、例えば伊東市男子バスケット部のような形で、会場校や顧問はいるが、土日の活動は1か所に集まって活動する。全ての学校に顧問がいるわけではないということで、伊東市部活動に対して、顧問または副顧問がいるという形で、日常的な練習は生徒たちが移動することなく、自校でタブレットを通じて顧問から出た指示などを参考に、自主的に活動する。安全面は、その中学校教員が見守るといような形を考えている。会場校の分配や、指導者、それから部員の推移を今見ていると、確実に設置が可能であろうと考えているのが、野球部、男女バスケット部、それから美術部になる。バレー部も集団競技ということで、バレーもぜひそうしたいと考えているが、まだ調整中というところである。それ以外の部活動については、今、地域にあるクラブそれぞれの競技団体の方と連携を取らせていただいて、中学生を受け入れていただく方向で進めている。中学生の受入れをお願いする場合には、所定の研修のようなものを受けていただく必要があるので、生涯学習課と連携しながら、地域に説明をして、今、連携を取れるかどうか、相談をさせていただいている。それが、令和9年の秋からということで考えている。それまでは、現在の活動が継続される。部活動というものは、これから中学に上がる小学生にとっては、学校を選ぶ際、場合によっては学校を変更することまで視野に入れて考える問題でもあるので、今このような途中経過にあることは、小学校の保護者と子どもにも、部活動通信のようなものを通じてお知らせをしているところである。

**D委員**：市内で1つの部活動になると、例えば複数校あれば、複数チームが試合に出ると思う。野球でいけば、レギュラー9人×学校のチーム数で、試合に出場する機会はあると思うが、それが地域で1つになると、試合に出る人数が減ることが仮にあるのだとしたら、部活に対するモチベーションをいかに維持するかということは、考慮すべきことだと思う。そういった部分のことも、考えていただけたらいいと思った。

**遠山教育長職務代理者**：その他、何か意見・質問はあるか。

**A委員**：部活動の地域展開であるが、生涯学習課であったり、各学校であった

り、指導者の方と連携であったり、進めていく担当は教育指導課と考えていいか。

**森田教育指導課長**：伊東市部活動の間は、あくまで部活動で、学校が設置しているものになるので、教育指導課と考えている。これが地域に展開されていくようになると、今度は地域クラブや様々な団体との連携が必要になってくるので、現在も生涯学習課と連携しているが、ウエイトが変わってくると考えている。

**A委員**：当面は教育指導課が中心になって動いて、ある程度のウエイトが変わった段階で、生涯学習課の方に移動していくイメージでよいか。

**森田教育指導課長**：今、部活動あり方検討委員会は、委員長を市内中学校校長が務めており、教育指導課の方で主管しているので、伊東市部活動がある間は、教育指導課の担当が継続されると思う。どのぐらい伊東市部活動を設置できるかによっても、変わってくると思うが、現在、主導しているのは、教育指導課のウエイトが高いと認識している。

**A委員**：承知した。教育総務課のLED化工事の中で、令和7年度の国からの補助が遅れているということだったが、これは何か原因があるのか。来年度もそういうことになると、いろいろなことがどんどん遅れてしまうので、一時的なのか、あるいは今後も懸念されるようなことなのか、そのあたり少し教えていただけたらと思う。

**杉山次長兼教育総務課長**：補助申請は県を通じて国に申請するが、県内の各自治体が同様な状況で付きにくくなっている。その原因が、例えば国としての財政がある中で、ウエイトを占めるものが変わっているのかということとは分からないが、国は現在、学校体育館の空調設備に力を入れているところがある。必ずしも因果関係は分からないが、そういった部分も少なからずあるのかもしれない。全体的には、今まで全く採択されないことはあまりなかったので、計画が立ちにくい状況であり、県としても分からない状況である。

**A委員**：来年以降もそういう状況が続く可能性があるという認識でよいか。

**杉山次長兼教育総務課長**：そのようなところはある。また、多少財源にゆとり

のある自治体だと、補助に頼らず事業を進めるところもある。

**A委員**：LED化については、少し時間的余裕もあり、令和9年もすぐ差し迫っているが、今ある既存で何とかなる。これが安全面など、急遽対応しなければいけないところの予算編成に影響を与えてくるようだと、非常に問題だと思う。県の方に確認していただきつつ、今後もし補助がなくなっていくようであれば、何か他の方法を考えなければいけないと思うので、そのあたり情報収集とあわせて、次の手段をご検討いただきたい。

**遠山教育長職務代理者**：その他、何か意見・質問はあるか。

**D委員**：年4回ほどある補助金の申請時期に申請はしているが、補助金が認められないということか。先ほどの話で、内示がまだで遅れているという説明だったと理解しているが、今の話からすると、違う理解なのかなと思ったので、そこを教えていただきたい。

**杉山次長兼教育総務課長**：補助申請をしているが、内示されない状況である。

**A委員**：遅れているというより予算がつかないのか。遅れて何かもらえるということでもないのか。

**杉山次長兼教育総務課長**：遅れているかも不明である。そこが遅れなのか、全く採択される見込みがないのか、分からない。

**D委員**：もし補助金が出たとした場合、予定しているLED化は、例えば教室なのか、体育館なのか。

**杉山次長兼教育総務課長**：基本、校舎である。教室の一部を市の予算でLED化していることもあるが、全体をまとめてとなると、工事にならないとできない。そこは、国庫補助が3分の1なので、補助金を財源の一部にしている。

**D委員**：そうすると、現状、一部はLED化されているが、一部は蛍光灯のまま、蛍光灯が消耗品だから、それが切れてしまった場合には蛍光灯で対応しているということで、早々な対応が必要な状況ではないという理解でよろしいか。

**杉山次長兼教育総務課長**：必ず今すぐの対応が必要ではないが、生産が中止されるので、いずれやらなくてはいけないと思う。明るさもそれなりに確保でき

る。

**遠山教育長職務代理者**：その他、何か意見・質問はあるか。

**A 委員**：生涯学習課の図書館協議会の話だが、これからどのような方々で構成していくのか人選があると思う。今後、図書館のことでいろいろあると思うが、例えば書店でもフェアなど、いろいろやっている。本ってすごく素晴らしい、楽しいということ、魅力を提案していける。本の素晴らしさを、ハード面ではなくソフト面の方で、そういう提案ができるような、元書店員のそういうことをやっていた方など、本に特化した思いがあって、皆さんとシェアできるような提案や意見を言っていたら入っていただけると、今後の新しい図書館に向けてというところにおいても、また非常に大きなヒントになると思う。ぜひ、そのような方をぜひ探していただきたい。

**山下生涯学習課長**：図書館協議会における委員の選定について、図書館法に学識経験者や学校関係者などを登用する旨の定めがあるが、他市では公募の方も入っている。何人応募があるか分からないが、その中にそういう方がいれば、より利用者側の意見をいただけたらと思う。公募に応募がなかったとしても、今、教育委員の方から意見があったように、例えばこれからの図書館の運営の中で、こんなことをやったらどうかというところをあげて、協議することは可能になるかと思う。建物については、しばらく建設する予定はないが、現在の図書館においてソフト面で変わったことができ、本に興味を持って来てくださる方が増えたらいいと考えている。

**A 委員**：各地域にサテライトが欲しいとの提案が当初に上がっていたので、例えば、今、車があるが、車だけではなく、どこか民間のところを本のそういうフェアをするような形で、各地域で展開をしていける。そんな取り組み方もできると、本っていいなと思ってもらえるシーンが増えていく。子どもたちにも、家族で来てもらえて大人から子どもまで、色々な形で、書店の店員たちはすごいと思ったことがあった。知識と能力のある方をぜひ探していただけると、ありがたいと思う。

**遠山教育長職務代理者**：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**遠山教育長職務代理者**：教議第4号「令和8年度重点化事業及び新規事業について」は原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**遠山教育長職務代理者**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第4号については原案どおり決定した。

**遠山教育長職務代理者**：次に、教議第5号「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針 旧市街地地区（北中学校再編版））について」を議題とする。

(杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

**遠山教育長職務代理者**：先ほどの総合教育会議の内容となっている。それ以外で、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**遠山教育長職務代理者**：教議第5号「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針 旧市街地地区（北中学校再編版））について」は原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**遠山教育長職務代理者**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第5号については原案どおり決定した。以上で、議決事項を終了する。

**遠山教育長職務代理者**：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

**杉山次長兼教育総務課長**：教育総務課からは、2点ほど説明させていただく。今、特別教室の空調の設置を進めていて、富戸小学校・八幡野小学校・池小学校以外の学校9校については、12月までに工事を完了させることになっているが、機器は設置されたが、変電設備がついてなくて、まだ稼働できないところがある。大池小学校や南小学校、門野中学校については、もう設置できたので、試運転の状況では使えるようになっている。12月までに、対島地区3小学校を除いた9校について利用可能になる。また、残り3小学校についても、3月までには利用可能になる。もう1点が、令和8年度採用の幼稚園教諭の二

次募集の試験結果だが、一次試験で合格になった1名の二次試験を、11月15日に実施する。また、受験者については、合格した旨を通知した。

**鈴木幼児教育課長**：特になし。

**山下生涯学習課長**：今後のイベントスケジュールについて報告する。わたしの主張発表会は、11月1日、午前10時から、会場は健康福祉センターで、教育委員には来賓として出席をお願いしている。続いて、第35回善行賞については、11月下旬に受賞者を決定した後、12月以降に最も印象に残った受賞者のいる学校へ教育委員会と伊東ライオンズクラブのメンバーの方と訪問して、児童生徒の面前で授賞式を執り行う予定としている。続いて、第26回静岡県市町対抗駅伝競走大会について、昨年、伊東市チームは25チーム中21位という結果で、第1回大会の最高順位13位、第21回大会の最高タイム2時間21分8秒を目指して、練習に励んでいる。12月6日、静岡県庁午前10時スタートで、今年のスタート位置が1列目の中央をくじで引いたので、テレビで観戦いただくと、スタートの真ん中は伊東市になっている。続いて、二十歳式について、開催日時は来年1月11日、午前10時30分開式で、会場は伊東市観光会館である。続いて、第60回オレンジビーチマラソンについて、1月18日、2km・5km・10kmの3部門で、伊東市観光会館を午前9時20分から順次スタートとなっている。参加申し込みの締め切りは11月10日になり、現時点での人数はファミリーの部177組を含む1,498人の申し込みがある。教育委員の皆様には、大会顧問の就任をお願いしているところである。第54回伊東駅伝について、大会日時は来年2月1日、5区20.7kmのコースで、伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぼーとを午前10時10分スタートし、ゴールの伊東市役所を目指すコースになっている。

**遠山教育長職務代理者**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**遠山教育長職務代理者**：教育指導課の生徒指導報告については、秘密会になり、非公開案件となるので、傍聴人はこちらで退出をお願いします。

(傍聴人退出)

(傍聴人退出後、秘密会として生徒指導報告がされた。)

**遠山教育長職務代理者**：今後の日程について確認する。

**事務局**：11月の定例会については、11月27日(木)午後3時30分を予定している。12月の定例会については、12月22日(月)を予定とする。

**遠山教育長職務代理者**：以上で、伊東市教育委員会10月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 森重 俊幸

委員 遠山 泰範

書記 藤原 真紀